ロールシャッハ法講座〈入門〉

＊当財団（講座）は「臨床心理士」資格取得者の研修機会として、(公財）日本臨床心理士資格認定協会より「短期研修機会（ワークショップ)」の承認を受けております。＜承認期間：2022 年 7 月 2 日～2027 年 7 月 1 日　承認番号：20210392＞

開催日程：〔土・日〕集中講座 × 2回（時間帯は下記プログラム参照）

2025 年 6 月 7 日・8 日、6 月 14 日・15 日、

受講対象：臨床心理士・公認心理師・スクールカウンセラー・相談員等またはそれらを目指している方、病院・学校・児童相談所・矯正施設・福祉施設等の各現場に関わっている専門家の方、及び、当該心理検査について基礎から学ぼうとする方

定　　員：50 名（定員になり次第締切りますのでホームページなどでご確認ください。先着順となります。）

受 講 料：30,000 円（税込）

会　　場：明治安田こころの健康財団　講義室　　TEL 03-3986-7021

東京都豊島区高田３－１９－１０　　＊詳細地図は受講証に添付いたします

ＪＲ山手線、西武新宿線、東京メトロ東西線「高田馬場駅」より徒歩約７分

ロールシャッハ法は心理アセスメント技法の一つとして、日本の心理臨床に限らず世界で広く採用されている心理検査ですが、同時に心理臨床家としての臨床的センスを養ってくれる検査でもあります。本講座では、ロールシャッハ法を初めて学ぶ人やしっかり学びたいという人を対象に片口式のロールシャッハ法の基礎（理論的背景・実施法・記号化・解釈法）を学習します。

「ロールシャッハ法は難しい」とか、「マスターするには時間がかかる」という声をしばしば耳にします。しかしロールシャッハ法に限らず、学ぶ心理検査がなんであれ、マスターするには一定の経験を要するものです。また確かに奥深い心理検査ですが、基本をしっかり学べばさほど難しいものではありません。ロールシャッハ法には準拠する理論はないものの、記号化には基盤となっているルールがあり、その記号化を基に解釈を行います。記号化と解釈のルールを知れば、一定水準への道はさほど困難なものではありません。なお、本講座では片口式を解説しますが、他のシステムについても片口式との比較検討の点から適宜紹介する予定です。

＜企画講師　小川 俊樹＞

********** 講 師 陣 ご 紹 介 **********

（ご企画）**小川　俊樹　先生**：筑波大学　名誉教授

溝口 るり子　先生：臨床心理士、公認心理師

高瀬　由嗣　先生：明治大学文学部　教授

【プログラム】

＊２ページ目にプログラム進行予定表を掲載しております。

日 程	時 間 帯	教科書・講義内容など
6 月 7 日（土）	各回とも 〔土曜日〕①12：30～14：00 ②14：15～15：45 ③16：00～17：30 〔日曜日〕① 9：15～10：45 ②11：00～12：30 ③13：15～14：45 ④15：00～16：30 ＊昼食は各自おとりください	■教科書として **「改訂　新・心理診断法」（片口安史 著） ／金子書房　［定価 10,450 円］** を使用いたします 本講座では、事前学習を推奨しております。教科書がお手元にない方はご自身で事前にご用意いただきご参加いただきますとより理解が深まる講座です。 **※教科書等は 6 月 7 日のみ会場でも販売いたします**
6 月 8 日（日）		
6 月 14 日（土）		
6 月 15 日（日）		

※時間割・テーマ等が変更となる場合があります。予めご了承ください。

＜２０２５年度「ロールシャッハ法講座〈入門〉」プログラム進行予定表＞

講義内容は、以下の通りです。事前にテキストに目を通しておいていただくと、理解が深まるかと思います。
なお、進行具合によって必ずしも時間内に当該の講義内容が終了するとは限りませんので、ご承知おきください。

【企画講師　小川　俊樹】

＜6 月 7 日（土）＞

1	**A ロールシャッハ・テストとは？**			
	12:30～14:00	小川　先生	ロールシャッハ・テストとは？	第 1 章･第 2 章
2	**B 実施法**			
	C スコアリング・記号化			
	14:15～15:45	小川　先生	実施法 1 スコアリングの前提	第 3 章 第 4 章 10-12
3	16:00～17:30	小川　先生	2 反応領域のスコアリング	第 5 章 13-16

＜6 月 8 日（日）＞

4	9:15～10:45	溝口　先生	3 反応決定因のスコアリング	第 6 章 17-23
5	11:00～12:30	溝口　先生		
6	13:15～14:45	高瀬　先生		
7	15:00～16:30	高瀬　先生	4 反応内容のスコアリング	第 7 章

＜6 月 14 日（土）＞

8	12:30～14:00	小川　先生	5 形態質（形態水準）の評価 6 公共反応の評価	第 8 章 第 7 章
9	**D 分析・解釈法**			
	14:15～15:45	溝口　先生	1 分析の前提(まとめの表の作成) 2 反応数・反応時間の分析	第 9 章 第 10 章 第 11 章
10	16:00～17:30	溝口　先生	3 反応領域の分析	第 12 章

＜6 月 15 日（日）＞

11	9:15～10:45	高瀬　先生	4 反応決定因の分析 5 反応内容の分析	第 13 章 第 14 章
12	11:00～12:30	高瀬　先生	6 形態質（形態水準）の分析 7 公共反応の分析	第 15 章 第 14 章
13	13:15～14:45	小川　先生	8 総合的解釈（量的分析・形式分析）	第 16 章
14	15:00～16:30	小川　先生	9 総合的解釈（質的分析・継列分析）	第 17 章
			E まとめと質疑応答	

■教科書について

本講座では教科書として「改訂　新・心理診断法」片口安史 著（金子書房）を使用しますので、
お手元にご準備いただくようにお願いいたします。

事前のご購入が難しい方に向けて **6 月 7 日のみ〔定価 10,450 円〕**（税込）で頒布いたしますので
必要に応じてこちらもご利用ください。

また、書籍販売（6 月 7 日のみ実施）では関連書籍も販売予定です。

＜参考書＞「ロールシャッハ・テストの学習～片口法スコアリング入門」

割引価格：3,960 円（税込）［定価 4,950 円］　　… 等